

	<p>桔梗が丘自治連合協議会</p> <p>平成23年度 第12回 理事会 議事録</p>
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成24年4月28日(土) 9:30~12:05
出 席 者	<p>出席者・辻森、大垣、梅本、河合、上田、東、武仲、阪本、野邊、高槻、廣岡、竹原、吉野、加納、森永、中村、山中、松村、東監事、田合監事、森田地域担当監。</p> <p>欠席者・小幡。</p>
議 事 決議事項	<p>上田理事が司会を務め、会議が始まった。</p> <p>辻森会長から、平成24年度に入り新しいメンバーを迎えたが、よろしく願う。又一年間健康に留意して活動いただきたいとの挨拶があった。</p> <p>会議に先立ち、名張市の機構改革により、今月から新しい地域担当監が決まり、本日出席いただいている旨を述べた。</p> <p>新しい地域担当監の森田徳忠氏より、名張市の機構改革で新しく「地域部」ができ、市内15箇所の地域づくり組織を3人の担当監が分担して担当することになった旨の挨拶があった。</p> <p>引き続き、辻森会長が議長となり、議事の審議に入った。</p> <p>1. 議事録署名人 本会議の議事録署名人に加納康嗣氏、高槻茂夫氏の2氏を指名することに決した。</p> <p>2. 平成23年度自治連合協議会の事業報告承認に関する件 議長から、事業報告書を事前に配布しているので、説明は簡潔に願う旨を述べた。</p> <p>議長から、「総務委員長が少し遅れるので、先に企画運営委員会から始めていただきたい。」と述べた。</p> <p><企画運営委員会> 阪本企画運営委員長の報告の要旨（具体的な内容は資料参照）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年度から引き続き地域ビジョンの策定作業を重点的に進めた結果、昨年10月末に最終案が出来上がった。 地域ビジョン（最終案）は、昨年10月30日（日）の住民説明会の実施、11月19日（土）開催の桔梗が丘自治連合協議会臨時総会にて正式に承認され、6つの基本的方向指針と7つのプロジェクト事業から成る「桔梗が丘“ほっとまち”構想」が新しい地域ビジョンとしてスタートした。 その後、平成24年3月3日（土）名張市内15地域の地域ビジョン発表会に参加、3月5日（月）には桔梗が丘地域内全家庭に、その冊子を配布した。

- ・ 平成24年度に入って、プロジェクト推進チームを設置して、地域ビジョンの具体化に向けた検討会議を開催している。
- ・ その他の事業として、実験的なガレージベンチの設置やコミュニティビジネスの検討を始めるにあたり、つつじが丘地区の視察、ライフサポートセンターの資料を入手した。
- ・ 事業部会への支援は各種事業の応援をした。
- ・ 事業部会への提案、事業評価システムの検討については、地域ビジョン策定後の作業と捕らえ、推進プロジェクトチームの作業と連動しながら進める事にした。
- ・ 予算執行は350,000円の予算に対し、地域ビジョン冊子の作成費305,550円を計上した。

<広報委員会>

野邊広報委員長の報告の要旨（具体的な内容は資料参照）。

- ・ 広報委員会の役割は、住民の皆さんとコミュニケーションをとっていくこと、各住民の持ついろいろな要望を吸い上げ、事業に反映させていく事と思っている。未だこれらは充分出来ていないが、今後も重点的に取り組む。
- ・ これらの実現の為、二つのツールをも持っている。（ききょう通信、H.P）
- ・ ききょう通信は予定通り発行できた。今年の3月には50号の節目をむかえることが出来た。内容はもっと地域に密着した事を取り上げて行きたい。
- ・ ホームページは年初は更新が遅れていたが、最近では改善されている。
- ・ こうした広報活動にも、広範囲な住民の皆さんの意見を取り入れたいと思っていたが、充分ことが出来なかつたので、平成24年度は、この面の作業に力を注ぎたいと考えている。皆さんのご協力をよろしく願いたい。

<健康推進部会>

高槻健康推進部会長の報告の要旨（具体的な内容は資料参照）。

- ・ 敬老の日の行事として、9月17日（土）に70歳と88歳の方に長寿記念品、70歳以上の方にお祝い品を贈った。
- ・ ききょう健康まつりを開催。今年はウォーキングと健康まつりを別々に実施した。四季の里へのウォーキングは参加者40人。健康まつりは例年通り各種の健康チェックを実施した。合計250人の参加があり、特に健康測定は例年どおり好評であった。
- ・ ニュースポーツ世代間交流大会を平成24年3月24日に開催。天候が悪くグランドゴルフは中止したが、参加者は47人あり、そのうち子供は21人と好評でした。
- ・ 桔梗が丘体操会との協働事業は予定どおり進めた。
- ・ ききょう健康講座として、ベルフラワー教室の開催、「大腸がんを知る」と題した三重大医学部附属病院の井上医師の講演会の実施、「集団がん検診」を昨年11月20日に実施した。住民の皆さんの関心も高く、好評であつ

た。

- ・ 「桔梗が丘げんき通信」を8回発行した。今後は内容を充実させる。
- ・ 名張市の健康講座への参加を予定していたが、平成23年度は開催されなかった。

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長の報告の要旨（具体的な内容は資料参照）。

- ・ 住民交流部会は、住民相互の親睦を深める目的と交流の場の提供を柱とした、「ききょう夏まつり」と「ハッピーニューイヤーききょうフェスタ」を実施した。
- ・ 夏まつりは平成23年8月20日(土)開催。今年が8回目の開催となったが、当日、天候が少し心配されたが、無事実施することができた。参加者にも大変好評であった。
- ・ 一部内容が変更になった（桔梗丘高校吹奏楽パレード中止）が、課題としては、まつりの実施の有無の告知方法があったと考えている。
- ・ 従って、その影響か参加者が例年より微減。
- ・ ハッピーニューイヤーききょうフェスタは、地域の子ども達を対象とした催しですが、地域福祉部会、教育文化部会の協力を頂いて実施し、無事終了した。
- ・ 平成24年1月9日（月・祝）は、2番町どんど保存会の協力で「どんど行事」を実施したが、地域の伝統行事として年々参加者が増え、賑やかに開催することができた。
- ・ 次年度への課題は、どんどの参加者が増加しているので、予算の配分方を考慮したい。
- ・ 夏まつりの次年度への課題は、商店街の空き店舗を利用させてもらって、高齢者向けの休憩所、緊急の医務室等の設置。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長からの報告の要旨。（具体的な内容は資料参照）。

- ・ 桔” ざセミナーを夏休み4回、冬1回開催した。これは料理、科学を始めとする講座を地域の子どもを対象にして実施した。参加者の子ども達は勿論、多くの大人のボランティアさんの協力もあり有意義な催しでした。
- ・ 夏のコースでは「桔梗夏まつり」に、冬のコースでは「ハッピーニューイヤーききょうフェスタ」にも参加して成果を発表、子ども達の為にも良かった。
- ・ 第15回の「青少年が語る心の思い発表会」を例年通り桔梗が丘公民館展に合わせて開催。歴史のある行事で地域住民の方にも好評でした。
- ・ ふるさと歴史ハイキングを今年度は「秋の滝之原を歩こう」と題して実施。参加者は79人。子どもの参加者増が課題。
- ・ 私の一冊文庫は、地域の子ども達に本の読み聞かせをするボランティア事

業で毎月第3土曜日に開催した。今年初めて、公民館で絵本展を開催した。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長の報告の要旨（具体的な内容は資料参照）。

- ・ 普通救命講習会を2回開催した。場所は名張消防署の研修室。参加者は昨年5月14人、平成24年3月は13人でした。毎回の参加者を25人としているのので、今後は参加への啓蒙に力を入れたい。
- ・ 平成23年度もAEDのリースを継続し、リース代を計上した。
- ・ 防犯パトロールを6人の隊員で、毎月4回2台の青色回転灯装着車で行った。活動費は1回2000円を支給。今後の課題は隊員の確保です。
- ・ 命の笛を例年通り地域の3小学校の新生と転校生及び笛を無くした児童に贈呈した。今後は贈呈数を「個」で表現する。
- ・ 地域内の危険箇所の解消、改善に取り組んだ。成果も出ているので、次年度も継続して取り組む。
- ・ 桔梗が丘自治連合協議会の自主防災隊の体制づくりも出来たので、今後はこの規約に沿って活動していく。要援護者支援制度の概要ができた。課題はこれをどのように生かしていくのか、当部会も協力していきたい。
- ・ その他、地域内の道路標示の改善に取り組んだ。その成果も出た。

<快適環境部会>

加納快適環境部会長の報告の要旨（具体的な内容は資料参照）。

- ・ 地球温暖化対策事業として、昨年5月8日（日）に地域の家庭にゴーヤの苗を2000株配布した。（630人）地域の公共施設にも配付。
- ・ そのあとゴーヤ料理教室、我が家のゴーヤ自慢写真展、ゴーヤお持ち帰りコーナーの設置などを実施し、地球温暖化防止啓蒙に一役買った。次年度も実施したいと考えている。
- ・ 地域環境保全・教育啓発事業として、昨年6月ゲンジボタル観賞会を桔梗が丘南公民館とシャックリ川で実施し（参加者約150人）した。本年1月8日（日）には、バードウォッチングを10号公園と西徳明池で実施した。参加者は約50人。
- ・ ここまでの事業は（財）自治総合センターからの助成事業として実施した。助成額は50万円。
- ・ 昨年6月5日（日）の名張市クリーン作戦に賛同して「桔梗クリーン作戦」を実施。参加者は30人。別途に3番町自治会が団体参加をした。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長の報告の要旨（具体的な内容は資料参照）。

- ・ 高齢者・障がい者への友愛訪問を毎月一回「陽だまり」を持って安否確認に訪れた。
- ・ 年末には75歳以上の1人暮らし等の、見守りが必要な方々に「年末友愛

訪問」を実施した。

- ・ 平成23年5月29日(日)「高齢者のつどい」を地域の80歳以上の方を対象に実施した、参加者は158人。参加費は1人500円
- ・ 地域内14箇所で開かれているいきいきサロンに補助金を支出。
- ・ 例年通り地域内7箇所のグループホームの交流会を昨年11月に実施した。障がい者20人、ワーカー6人、民生委員23人が参加。
- ・ 赤ちゃんちびっ子なかよし広場を実施した。
- ・ 配食サービスを行っている「友～友」「いこい」の両グループに協働事業として参画した。

(大垣副会長(総務委員長)及び武仲自治連合会幹事が着席。)

<総務委員会>

大垣総務委員長の報告の要旨(具体的な内容は資料参照)。

- ・ 総務委員会の事業計画は全項目にわたってほぼその目的を達成できたと思う。
- ・ 平成23年5月7日(土)午後1時30分から定時総会開催。予定された議事は全て承認された。
- ・ 規約・規則の改定は、桔梗が丘自治連合協議会自主防災隊規約、災害時要援護者支援制度にかかる個人情報取扱規則を定めた。
- ・ 財政の安定化のための積立金は当初の予定通り計上できた。
- ・ 公民館との協働事業として10月に講演会を実施した。
- ・ 事業の成果を高める為の講演会(5月22日(日))と「まちづくり」に生かすための具体的事例研究の研修会(6月22日(日))を実施した。
- ・ 講演会と研修会は今後の協議会の運営及び活動に向けて大変有意義であったので、今後も進めていきたい。

引き続き議長から、3委員会の活動報告に対する質問を求めたが、特に意見はなかった。

次に、3事業部会(健康推進・住民交流・教育文化)の活動報告に対する質問を求めた。

Q.参加者の表現を、「名」又は「人」どちらかに統一したほうが良い。

A.「人」に統一することが了承された。

Q.教育文化部会の歴史ハイキングでのマイクと笛の購入の狙いは何か。

A.歩行中の安全確保のため、合図を出す為に使う。

次に、3事業部会(生活安全・快適環境・地域福祉)の活動報告に対する質問を求めた。

河合理事から、生活安全部会の活動で、地域内の道路標示の改善に取り組んでいただき、大変良くなり感謝する旨を述べた。

田合監事から、配付された決算書の備考欄の各事業内容と、各委員会・事業部会が実施した事業は同じ表現にしたほうが良いとの指摘があり、そのように表現を統一する事になった。

その他に質問は無く、議長から、平成23年度事業報告承認について採決を諮

ったところ、全員挙手し異議無く承認された。

3. 平成23年度公民館事業報告承認に関する件

森永理事から、平成23年度公民館事業について別添え資料に基づき概ね次のような報告があった。

「主催講座としては13講座を開催した。夏期大学講座は4講座、その他行事として3行事を実施した。

「タッチ・ザ・サイエンス」は子ども向けの科学遊びを通じた仲間作り、「シニアクラス❖」は高齢者向けの色々なジャンルの学習を通してお互いの絆づくり等を目的と、それぞれの講座が資料記載の目的を持って実施した。

平成23年度から開講した「農を楽しむ」は当初の予想を上廻る成果を挙げた。

次に「区分」の分類が変更になっているが、これは教育委員会からの指示によるものです。

夏期大学講座、プチコンサートを始めとする3行事は記載のような集客があり、年々盛んになってきた。今後とも継続していきたいと考えている。」と述べた。

引き続き議長は、出席者に意見を求めた。

Q. 区分はこの他にどんなジャンルがあるのか。参考に教えていただきたい。

A. 体育指導者・指導者養成等、実際の講座内容に合わせたものになっている。

詳細は後ほどお知らせする。

事業報告一覧表からは、区分は削除したほうが理解しやすいとの意見があり、全員異議無く承認された。

その他に質問は無く、議長から、平成23年度公民館事業報告承認について採決を諮ったところ、全員異議無く承認された。

4. 平成23年度決算報告に関する件

松村事務局次長から、平成23年度協議会会計決算が別添資料に基づき報告があった。

<協議会会計決算報告の概要>

収入の部、支出の部とも項のみ記載。目の詳細は決算書を参照。

収入の部	予算額	決算額
会費	1,000,000円	1,000,000円
交付金	10,915,200円	10,919,470円
補助金	260,000円	270,700円
助成金	552,340円	552,340円
報償費	210,000円	210,000円
雑収入	10,000円	46,433円
繰越金	5,655,050円	5,655,050円
合計	18,602,590円	18,653,993円
支出の部	予算額	決算額
総務費	3,187,000円	2,247,036円
企画運営費	350,000円	305,550円
広報費	322,000円	301,820円

健康推進費	2,360,000円	2,199,710円
住民交流費	1,100,000円	1,007,034円
教育文化費	385,000円	367,643円
生活安全費	170,000円	130,910円
快適環境費	597,000円	558,389円
地域福祉費	1,100,000円	1,065,990円
積立金	1,200,000円	1,200,000円
予備費	1,000,000円	0円
コミュニティ活動費		
	5,131,200円	5,131,200円
報償費	210,000円	210,000円
次期繰越金	1,490,390円	3,928,711円
合計	18,602,590円	18,653,993円

(いずれの科目も予算額を下回った。)

<公民館会計決算報告の概要>

収入の部、支出の部とも項のみ記載。目の詳細は決算書を参照。

収入の部	予算額	決算額
指定管理料	15,022,000円	15,022,000円
使用料	3,820,000円	3,980,816円
その他収入	200,000円	199,886円
繰越金	6,094,921円	6,094,921円
合計	25,136,921円	25,297,623円
支出の部	予算額	決算額
人件費	9,400,000円	8,925,417円
管理費	9,990,000円	90,74,348円
運営費	2,170,000円	1,663,627円
消費税	450,000円	457,100円
予備費	1,000,000円	0円
繰越金	2,126,921円	5,177,131円
合計	25,136,921円	25,297,623円

報告の後、議長は出席者に意見を求めた。

Q. 公民館会計の燃料費は何を想定しているか。

A. 館内のエアコンは全て電気であるが、停電等の不測の事態に備えて暖房ストーブ用燃料等を考えている。

東監事から、「未払い金、繰越金等の関係から財産目録の作成を指示した」と述べた。

Q. 消費税の算出方法はどうか？

A. 請負契約に基づく簡易課税方式を適用している。

以上で決算報告は了承された。

5. 平成23年度監査報告に関する件

東監事から、平成23年度業務監査および会計監査について、概ね次のような報告があった。

「平成23年度協議会会計、公民館会計共、出納帳及び会計帳簿等の関係書類を確認し監査した結果、いずれも適正に処理されている。一点だけ、公民館会計に未払い金（消費税）があるので、財産目録を作成するように指示をした。

業務監査については、全ての事業に参画は出来なかったが、いずれの事業も地域住民を対象に活発に展開されたと感じている。各事業部会のメンバーの方の努力にお礼を申し上げる。以上を平成24年度の監査報告とさせていただきます」と述べた。

6. 平成24年度予算案承認に関する件

<協議会会計>

大垣副会長（総務委員長）から、平成24年度協議会会計予算案について、各委員会、部会から提出された事業計画の予算額にもとづき総務委員会で全体予算案を作成したので審議いただきたい旨を述べた。

<提案された協議会会計予算案の概要>

収入の部	前年度予算額	平成24年度予算額
会費	1,000,000円	1,000,000円
交付金	10,915,200円	15,618,400円
補助金	260,000円	160,000円
助成金	552,340円	0円
報償費	210,000円	150,000円
雑収入	10,000円	20,000円
繰越金	5,655,050円	3,928,711円
合計	18,602,590円	20,877,111円

- ・ 交付金の基本額、加算額とも前年並み、事務局経費も30万円。但し交付金の総額が大幅に増額になっているのは、人件費が公民館指定管理料から470万円が振替られた為。
- ・ 全体として収入額が増額となっているが、人件費の振替額を除くと昨年比3,200円増に留まる。
- ・ 市社協からの補助金も規則改定により減額になる。各種の補助金もなく、従って財政的には厳しい年度となる。
- ・ 別途に、宝くじ助成金が190万円の助成が決定。防災備品の購入は出来ることになる。
- ・ 報償費収入は、名張市地域環境推進員に支払うもので、年間1人前年の7,000円から5,000円になる。
- ・ 収入の総額が2千万円余と大きく見えるが、加算額は各自治会・区に配分金（約500万円）、職員の人件費（470万円）を除くと、実質収入は580万円となり、繰越金390万円及び会費100万円を合わせて収入は約1,100万円規模となる。

・ 収入予算額については以上の補足説明があった。

支出の部	前年度予算額	平成24年度予算額
総務費	3,187,000円	7,926,200円
企画運営費	350,000円	300,000円
広報費	322,000円	385,000円
健康推進費	2,360,000円	2,370,000円
住民交流費	1,100,000円	1,120,000円
教育文化費	385,000円	431,000円
生活安全費	170,000円	140,000円
快適環境費	597,000円	473,500円
地域福祉費	1,100,000円	1,140,000円
積立金	1,200,000円	200,000円
予備費	1,000,000円	1,000,000円
コミュニイ活動費		
	5,131,200円	5,131,400円
報償費	210,000円	150,000円
次期繰越金	1,490,390円	110,011円
合計	18,602,590円	20,877,111円

- ・ 総務費が前年予算比較増となったのは、人件費470万円及びビジョン新規事業費100万円を組み込んだ為。
- ・ 費用弁償費は、地域ビジョンプロジェクトの進捗を見込んで増額した。
- ・ 防犯防災費は消防団桔梗が丘班への補助金のみ計上した。
- ・ 備品購入費は防災備品の倉庫の購入に充てる予定。地域内3箇所に設置の予定。
- ・ ビジョン新規事業費として、100万円を総務費に計上した。
- ・ 各委員会・事業部会の予算額はほぼ申請どおりとした。
- ・ 積立金は車両買換積立金のみとしたい。
- ・ 繰越金は11万円となった。

以上の補足説明があった。

<公民館会計>

引き続き松村事務局次長から、平成24年度公民館会計予算案について提案があった。

<提案された公民館会計予算案の概要>

収入の部	前年度予算額	平成24年度予算額
指定管理料	15,022,000円	9,898,000円
交付金	0円	4,700,000円
使用料	3,820,000円	4,000,000円
その他収入	200,000円	200,000円
繰越金	6,094,921円	5,177,131円

合計	25,136,921円	23,975,131円
・ 交付金470万円は協議会会計から振替予定。		
支出の部	前年度予算額	平成24年度予算額
人件費	9,400,000円	9,400,000円
管理費	9,990,000円	9,214,000円
運営費	2,170,000円	2,253,000円
消費税	450,000円	460,000円
予備費	1,000,000円	2,000,000円
繰越金	2,126,921円	648,131円
合計	25,136,921円	23,975,131円

- ・ 項目の目の詳細は資料参照する。
- ・ 指定管理料は42万円減になっているが、積算の結果使用料収入が増となったため。但し指定管理料は今後3年間据置きとなる。

辻森会長から、「協議会会計で健康推進部会から出されていた桔梗が丘体操会10周年記念事業費は縮小になった。」と述べた。

引き続き、議長は出席者に質問を求めた。

Q. 協議会会計の収入に繰越金が入っているが、この方法では正しいのか。このため予算額が大きく見えてしまう。実質は690万円に留まる。決して潤沢な予算ではない。このことを良く認識しなければならない。

A. 本年度は繰越金を減らそうと考えている。全体は少し余裕を持たせた予算編成をした。但し、全員が実際の財務内容の認識を持つように意見統一をしたい。名張市地域担当監から、積立金の名目に財政調整積立金は認められないから、ご注意願いたいと述べた。(繰越金を減らす為の方策として利用しない為。)

議長は引き続き意見を求めた。

Q. 公民館職員の人件費の半分を協議会経由としたのはどう訳なのか。

A. はっきりしたことは分からない。

Q. このまま協議会会計から人件費を支出すると消費税の対象にならないが、公民館会計に入れると対象となる。協議会会計から支出が出来ないのか。

そのあと、人件費の扱いについて意見交換の後、協議会会計の人件費は公民館会計に振替をしなくても良いかを再度市側に確認することになった。(森田地域担当監に依頼)

この確認の結果に基づいて、書面をもって各理事・監事に通知をする。総会に諮る為に確認書を作成し、出席者全員が署名捺印することに決した。

Q. これらの問題に鑑みても、今後当協議会は法人化を目指し、収益事業が出来る体制を構築しなければならないと考える。

A. 当然、その方向で進めていくことにしたい。

そのあと、予算上の見かけの数字に惑わされないように注意して運営していくことも必要との意見集約がされた。

引き続き議長から、平成24年度協議会会計予算案及び公民館会計予算案は、総会開催前に最終決定することの承認を求め、全員異議無く了承された。

7. 平成24年度自治連合協議会会長等及び理事・監事の承認に関する件

辻森会長から、平成24年度自治連合協議会会長等及び理事・監事の選任の経過と、以下の方々を候補者として定時総会に諮りたい旨を述べた。

会長	辻森 保蔵	(自治連合会代表幹事)
副会長	大垣 孝彦	(総務委員長)
副会長	上田 博	(自治連合会副代表幹事・第3ブロック幹事)
理事	河合 進	(自治連合会第1ブロック幹事)
理事	武仲 元男	(自治連合会第2ブロック幹事)
理事	東 弘文	(自治連合会第4ブロック幹事)
理事	阪本 忠士	(企画運営委員長)
理事	野邊 薫	(広報委員長)
理事	高槻 茂夫	(健康推進部会長)
理事	廣岡 貞之	(住民交流部会長)
理事	竹原 啓子	(教育文化部会長)
理事	吉野 孝司	(生活安全部会長)
理事	加納 康嗣	(快適環境部会長)
理事	梅本 久子	(地域福祉部会長)
理事	中村 満	(公民館長)
理事	山中 晃	(事務局長)
理事	松村 勲	(事務局次長)
監事	田合 豪	
監事	福森 讓	

議長は以上の被選任者の方々を、定時総会で承認をも求める事を諮った所、全員異議無く承認された。

8. 定時総会開催の件

<式次第について>

5月19日(土)開催の平成24年度定時総会の式次第について、山中事務局長から、別添え資料に基き報告があった。

議長から、まず式次第について意見を求めた。

Q. 休憩後、会議再開時に新評議員による総会成立宣言が必要ではないか。

A. 必要です。そのように訂正いたします。

引き続き辻森会長から、定時総会に来賓者として次の方々を招きたい旨を述べた。

名張市長	亀井 利克殿
名張市市会議員	川合 滋殿
名張市地域部長	奥村 和子殿
地域部地域経営室長	大西 利和殿
文化生涯学習室長	杉森 一徳殿
名張市教育長	上島 和久殿
桔梗が丘交番所長	中村 健太郎殿

報告事項	<p>名張消防署桔梗が丘分署長 栢本 保殿</p> <p>議長は以上の式次第と、役員等の選任について意見を求めたところ、全員異議無く承認された。</p> <p>以上で決議事項は終了した。</p>
1. 平成24年度公民館運営審議会委員及び運営委員会委員の委嘱について	<p>辻森会長から、平成24年度公民館運営審議会委員及び運営委員について、別添資料記載の各氏に対して委員を委嘱した旨報告があった。</p> <p>審議会委員6人、運営委員17人の氏名は資料参照。</p>
2. 平成24年度各種助成金の申請結果について	<p>辻森会長から、2件の助成金申請の結果について概ね次のように報告があった。</p> <p>(1) コミュニティ助成事業助成金（宝くじ社会貢献広報事業）</p> <p>地域防災育成事業として申請をした所、190万円の助成が決定した。備品の内容は発電機、簡易トイレ、給水器等です。具体的な作業は今後詰めていく事としたい。尚、収納用の倉庫を購入しなければならないと考えている。</p> <p>(2) 子どもゆめ基金助成金</p> <p>協議会の教育文化部会の活動を対象に申請をしたが、不採択となった。</p> <p>この子どもゆめ基金から「体験の風をおこそう」の助成金の追加募集があるので、教育文化部会でご検討いただきたい。詳細は当該基金のホームページで確認ください。</p>
3. 名張クリーン大作戦への団体参加について	<p>辻森会長から、各自治会(区)長宛てに名張市環境対策室より、6月3日(日)実施される「名張クリーン大作戦2012」に団体参加の要請書が郵送された。</p> <p>定例自治連合会では、各自治会(区)で検討の上、出来る所は参加要請をした。</p> <p>快適環境部会は部会の事業として行う。又快適環境部会は団体参加の区・自治会に参加賞的なものを提供したい。この部会の意向は各自治会長・区長に通達することになった。</p>
4. 平成24年度ゆめづくり交付金について	<p>辻森会長から、「平成24年度の名張市ゆめづくり交付金が決定した。詳細は書面を配付しているので確認をいただきたい。」と述べた。</p>
5. 地域づくり代表者会議について	<p>辻森会長から、平成24年4月18日(水)開催された地域づくり代表者会議について報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆめづくり協働事業提案制度」概要がまとまり、その冊子を配布している。 <p>今後はこの提案制度に沿って進んでいく事をご承知願いたい。</p>
6. 「子どもを守る	<p>辻森会長から、各自治会(区)長を通じて、新名簿に基づいた「子どもを守る</p>

<p>家」タペストリー配付について</p>	<p>家」タペストリー配布をした旨を述べた。</p>
<p>7. 委員会・部会報告</p>	<p><総務委員会> 大垣副会長(総務委員長)から、「4月の定例委員会において協議会会計の平成24年度予算の最終案を作成し、定例自治連合会及び本日の理事会に諮らせていただいた。」と報告があった。</p> <p><企画運営委員会> 阪本委員長から、「地域ビジョン推進プロジェクトの会合を毎日曜日に開催。事業の取り組み順位、精査の野作業を進めている。」と報告があった。</p> <p><広報委員会> 野邊委員長からは、特別な報告は無かった。</p> <p><健康推進部会> 高槻部会長から、平成24年3月24日(土)開催した「ニュースポーツ世代間交流大会」について概ね次のように結果報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数はスタッフを含めて69人。(子どもは24人参加。) ・ 天候が悪かったので、体育館でクロリティーとカローリングのみ実施。 ・ 費用は60,000円の予算に対して、参加費、運搬費合わせて41,194円となった。 <p><住民交流部会> 廣岡部会長からは、特別な報告は無かった。</p> <p><教育文化部会> 竹原部会長から、2点報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定例部会で、平成24年度の研修会はバスを利用に決定したので、ご協力いただきたい。 ・ 当部会の活動にボランティア参加の方を含めた反省会を開催した。その為、桔” ずセミナーの会議費が膨らんだことを了承いただきたい。 <p><生活安全部会> 吉野部会長から、次のような報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通救命講習会を3月25日(日)実施した。参加者は13人。講習の内容は止血方を始めとする4項目。今回が11回目となるがこれで受講者の累計が234人となった。 ・ 名張市の防災講演会に参加した。講師は群馬大学の片田敏孝教授。参加者も多く、大変意義のある講演で良かった。

<p>8. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青色回転灯装着車による防犯パトロールを4回実施。いずれの回も異常は無かった。 ・ 地域内の避難所に備え付けた防災備品を調べたところ、桔梗が丘東小学校と桔梗丘高校には、ガソリン缶が無い事が判明。対策を市の危機管理室と検討中。 <p><快適環境部会></p> <p>加納部会長から、「5月4日（金）にグリーンカーテン事業の一環のゴーヤ苗の配付をする。2000株を桔梗が丘公民館、南公民館、桔梗が丘西集会所の3箇所で行う。地域の公共施設にも配布する予定をしている。」と報告があった。</p> <p><地域福祉部会></p> <p>梅本部会長から、「当部会は民生委員が中心になって活動しており、会議等も民事協の会合と合わせて行っている。本年度もその方向で進めて行きたい。」と報告があった。</p> <p><防犯パトロールの要員></p> <p>大垣副会長から、生活安全部会の防犯パトロールの隊員不足解消の手立ての提案があったが、吉野部会長から、新年度からの要員の確保は出来ているので、ビジョンの進行と合わせて検討して頂ければ良い旨を述べた。</p> <p><総会議長の選任></p> <p>大垣副会長から、平成24年度の総会の議長、副議長は現職の原田忠義氏、石川鈴代氏に引き続きお願いすると報告があり、了承された。</p> <p><消防団桔梗が丘班></p> <p>田合名張消防団桔梗が丘班班長から、各地区で防災訓練等を実施する場合の協力体制についてお願い状を配付し、協力の要望があった。</p> <p>昨年度自治連合会に団員募集に協力をお願いをした。その結果桔梗が丘消防班の平成24年度の団員数は24名となった。（名簿添付）引き続き、募集の協力要請とお礼の言葉があった。</p> <p>平成25年度は更に充実した桔梗が丘地域の消防体制を構築していきたい旨を述べた。</p> <p>吉野生活安全部会長から、「地域内に消火栓が設置してあるが、その使用方法を学ぶ場を設けていただきたい。」と述べた。田合班長から、「善処したい。」と回答があった。</p> <p>辻森会長から、次の2点の報告があった。</p> <p><配食ボランティア友～友の活動支援></p> <p>4月の回覧でお願いをした配食ボランティア友～友の配達員の募集は7名の方</p>
---------------	---

が申し出られた。

<人権擁護委員の選任>

名張市からの依頼で、桔梗が丘地区の人権擁護委員が1名欠員となり、後任の選任の依頼があった。適任者があれば推薦を頂きたい。

以上で議事は終了した。

次回、理事会は、平成24年5月26日(土)

時 間 午前9時30分

場 所 桔梗が丘公民館 202号室

議 長

長

辻森保蔵 

議事録署名人

加納康嗣 

議事録署名人

高柳茂夫  

	副会長	副会長	総務委員長	書 記
				